

国産鶏の振興に関する検討委員会委員からの御意見と今後の方向性

—鶏—

(●：委員意見に対する方向性、○：事務局提案)

1 養鶏全般をめぐる情勢

項目	委員からの御意見等	今後の方向性（素案）
全般	①持続可能な畜産物生産としての国産鶏や鳥インフルエンザの影響による価格転嫁は国民に理解されやすくなっている。 ②飼料費の高騰による生産コスト高を鶏卵価格に十分に反映できていない。国産飼料を活用したコスト削減も必要。 ③持続可能性に配慮した鶏卵については、値段が高く販路拡大が難しい。 ④国産鶏の普及は重要である一方で、毎日食べられるたんぱく源としての鶏肉・鶏卵も持続可能性の一つであり、価格は重要な課題。 ⑤輸入規制等のリスクを考えれば国産鶏の普及は重要。 ⑥農場や種鶏会社の一極集中はリスクが大きく、地域や鶏種など、消費者や生産者に対する選択肢を増やしてほしい。	●種鶏の導入から商業用のひな供給、生産農場におけるコスト構造やリスクを明らかにしつつ、消費者とのコミュニケーションを継続。 ●地域の飼料資源等を活用し、差別化を図る鶏卵・鶏肉生産の取組も推進。また、たんぱく源として利用可能な肉骨粉の利用を検討。 ●AWの理念に基づく飼養管理の更なる追及、飼料その他生産資材の安定的な調達、危機管理対応等による安定的な生産供給体制の維持。

項目	委員からの御意見等	今後の方向性（素案）
	⑦地鶏については、外食での需要拡大を図るため、生産のストーリーや食文化、食味をPRするとともに、他の産地と協力し、料理家とコラボして普及できないか。	○食文化やご当地食材とのコラボレーションの事例を収集の上、紹介することを検討。
AWIについて	①生産性とAW対応のバランスをとった生産が重要である。消費者とのコミュニケーションをとりつつ、AW対応によるコストアップの価値を納得してもらう必要がある。 ②雄雛の孵化前鑑別技術に用いられるゲノム編集鶏由来の卵に対する消費者の理解はどのように進められるのか。	●需要に応じた生産を基本とする。コスト構造やリスクを明らかにしつつ、消費者とのコミュニケーションを継続（再掲）。 ●国内外のAWへの対応状況等の知見を蓄積し、食品等の安全性や生物多様性確保の観点も考慮し、消費者の理解の動向等を踏まえつつ対応（資料7参照）。
その他	種鶏場の広域化に伴い、2024問題により遠方への雛の運搬ができなくなったことから、コマーシャル農家が飼育をやめた事例がある。	○円滑な雛の広域流通が図られるよう、課題解決に向けた実態把握や意見交換を実施し、対応策を検討。

2 能力等に関する課題

項目	委員からの御意見等	今後の方向性（素案）
国産鶏全般	①国産鶏は外国産鶏に比べ、生産性では差があるものの、輸入規制等のリスクを考えれば、国産鶏を普及することは重要。 ②国産鶏は^{けんそうせい}喧噪性が高くつつきなどの攻撃行動を起こしやすい。生産性と飼いやすさのバランスをとった改良が必要。 ③国産鶏は、独自性が生まれるような改良が必要。 ④細菌性疾病に対する耐性についても改良が必要。	●生産資材等のコスト上昇を踏まえれば、育種改良の重要性は益々高まっており、関係機関の役割分担を再構築し、補完し合う体制を検討。 ●国産鶏の独自性に配慮し、^{けんそうせい}喧噪性を低減させる改良手法の探索。 ●生産性については、ICT技術の導入、飼養管理方法の改善、肉質・卵質評価も含めて対応。 ●抗菌性物質の利用低減に向けた適切な飼養衛生管理等を推進。
卵用鶏	①卵殻質や育成率、産卵率、誘導換羽後の後期産卵率等の生産性が重要。 ②飼料要求率については、飼料摂取量を下げるのではなく、産卵率を上げることで、飼料要求率を改善するような改良をすべき。	●多様な消費者ニーズに配慮しつつ、生産性の向上を追求する。長い期間、高い産卵性を持つ改良を推進。
肉用鶏	①増体率や飼料要求率、胸肉の歩留まりが外国産鶏に比べて改善されておらず、外国産鶏に置いて行かれないようキャッチアップすべき。 ②胸肉硬化症など、急速な増体に伴う疾病に対応した改良や	●消費者ニーズの変化や外国産鶏の成績を踏まえ改良を進める。 ●AW対応の一環として研究を進めることを検討。

項目	委員からの御意見等	今後の方向性（素案）
	飼育方法（スローグローイング等）の研究が必要。	
地鶏等	①都道府県等の生産組合が官能評価等でおいしさの見える化を行っている。おいしさを訴求できるような改良を目指すべき。それぞれの個性を評価できる目標を設定してほしい。 ②改良のために異血導入を行いたい、種鶏飼養者がおらず、改良素材を入手できない。	●科学的なデータに基づく肉質や食味の改良を推進し、消費者に対する訴求を図る。 ●家畜改良センターが開催する鶏改良推進中央協議会の場を活用してマッチング。